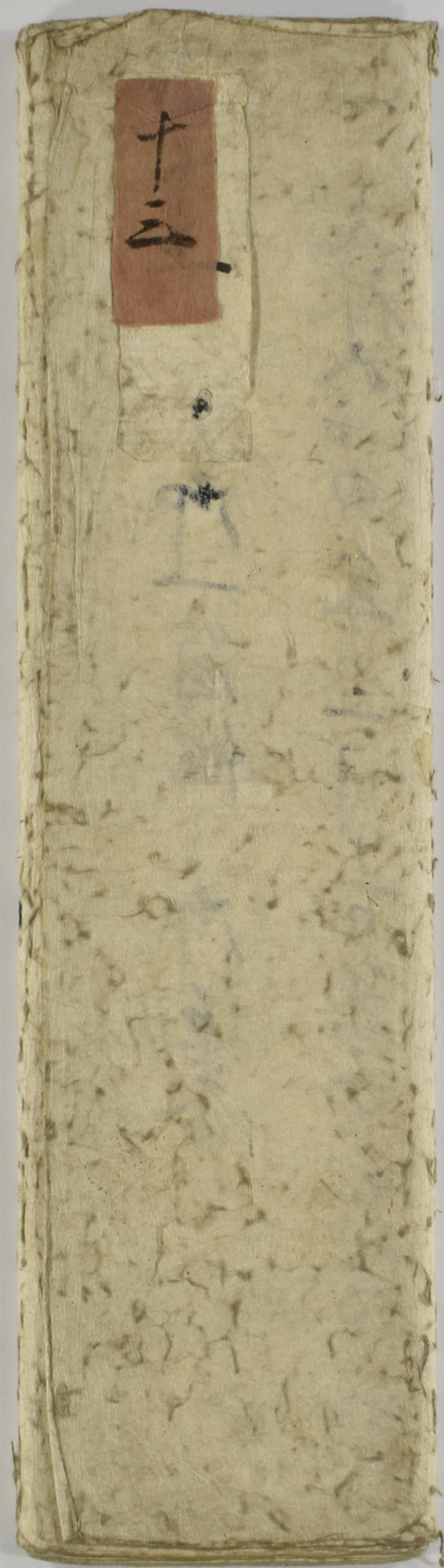
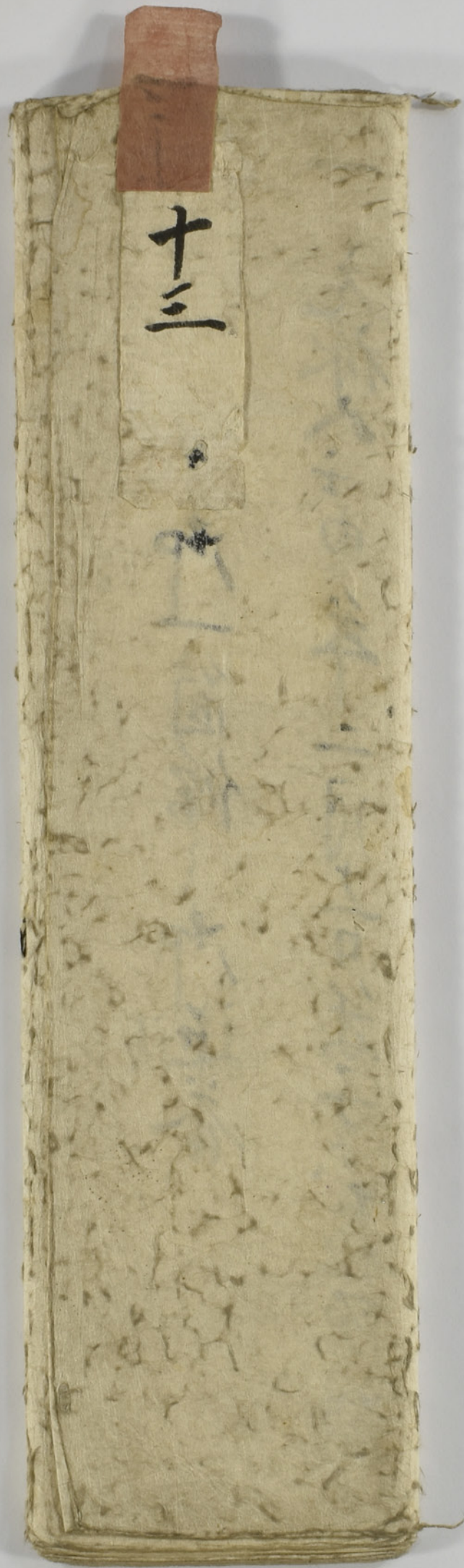
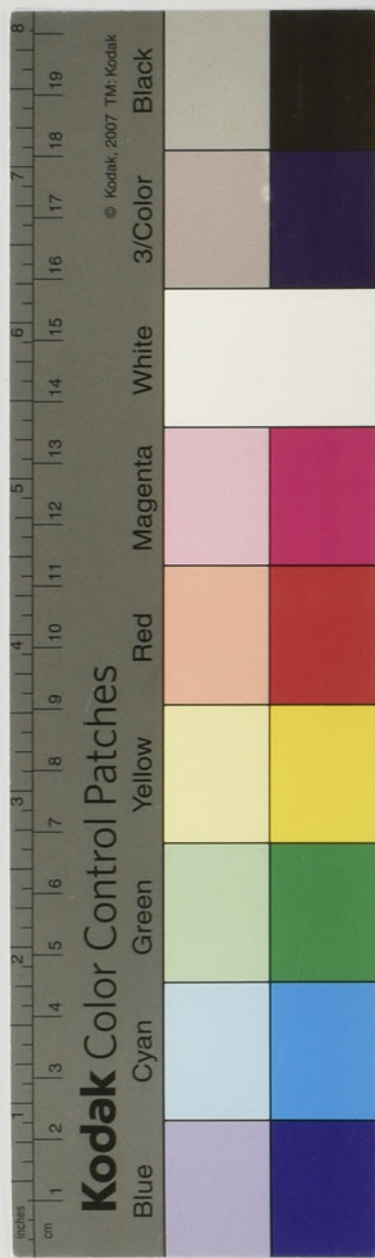




【大谷家文書】 3-27





【大谷家文書】 3-27



第卅一箇條 舟運卷

一 元祿八壬申年二月十日壬子公出松隈御

爲後福浦に志保二月廿四日福浦公出松隈御
朝ふ所竹崎のい、爲る所は志保松隈子
るし、船中人分及上へ船おる石需等皆其旨
於濱田浦、系り、唐松式被おる作は一艘
す、船一艘も浮船ら居、作、人、拾、計、名、其、
名、浮船、系、此方、船、八九名程、沖、道、与、坂
浦、所、廻り、作、名、由、人、陸、残、居、し、所
又、小船、系、り、系、り、故、此方、舟、あり、作、り
何、國、者、ら、相、尋、ぬ、り、一、人、通、辭、ら、ち、り、其、何
か、と、ん、か、う、の、者、ら、故、時、爲、候、之、事、目、在
此、と、候

御公方様代、并、領仕、毎、年、渡、海、し、作
爲、ら、所、何、と、其、方、大、系、氣、と、お、尋、ぬ、爲、候、
北、南、爲、有、る、二、年、に、及、死、因、と、申、し
船、及、系、の、因、え、二、月、廿、日、船、舟、拾、艘、を、改
出、船、非、凡、に、遠、入、艘、と、し、入、拾、二、人、系、爲、二、月
廿、日、流、走、し、爲、り、松、子、ん、と、申、ぬ、船、有、ら、り、改
追、爲、船、及、上、り、留、り、作、た、爲、り、爲、候、と、申、在、立、
松、子、作、爲、り、船、と、少、候、し、故、遠、往、仕、何、國、者、出、松

所寄の松は其節吟味は所、惣武具
所所松は也

第所二箇條、所近言

一 元禄六癸酉年二月下旬末子、出松を別法、
三月、物比を津、出松後、同治後、浦、
系、四月十六日、時、福浦、出松、日、七日、八日、
竹、松、系、法、所、度、人、合、居、る、有、法、
修、吟、味、法、以、得、
そ、人、下、方、者、そ、人、己、よ、あ、人、在、連、竹、松、
八、所、出、松、は、日、七、日、無、疾、
所、は、進、
長、海、口、
度、人、人、合、居、る、有、所、暫、
所、近、言

第所三箇條、所近言

一 竹、松、有、
二、有、古、後、海、
物、
本、竹、
一、葉、松、
一、梅、檀、
一、椿、
一、櫟、
一、松、
一、桐、
一、か、
一、か、

一、葉、松、
一、梅、檀、
一、椿、
一、櫟、
一、松、
一、桐、
一、か、
一、か、

一
入
集
松

一梅檀

實々々々々々

一牛分房

一
ち
り

一椿

一

一
棟
榑

一行

一
海の行

一極

葉とみの美し
しく赤く

一桐

一
か
ひ

草之

一少夫

一

一
子

一
ウ
ウ
ウ

一

一

一
こ
や

一ツ子

一
く
み

一いちご

一 いまごり

一辰砂をくちくすのむ

撫之
心
事
身
此
順
之
性
之
知
事
以

一、源氏物語の巻名

秋葉山に石を
置る

一、知不足齋叢書

海山月夜歌

篇四國條一而返答

一竹臨東西廣、依竹本堂、お知中、中并

臨廻て凡指墨餅底の青湯紙を水で濡らす

繪畫之優劣別紙仕指手作

第卅二箇條（一）近景

一竹磬みち奥の敷敷有て礼部尋紙

お極作たゝ通市井指し作

為歟

等所入箇儒之冲近音

一竹鶴みち奥の黙教有て礼節尋ね
お梅作たゝ通書片指し作

高敏如

一 臭
一 祿
一 胤

一山萑
一萑
一邪

一鳩
一ひよ
一かきひ

一四十雀
一かじ免
一鷗

一 かしこ
一 川む免
一 枕鳴

一
く
た
其外
其外
其外

第...箇條...返答

一唐人相渡の時節、作者國を渡りて、遠くを舟尋、舟を極、右來、時方、三月、渡海、七月、旬、席帆、結、年、渡海、節、吟味、仕、今、所、時、方、渡、海、小、屋、心、國、道、法、道、具、攝、松、等、少、及、交、松、子、相、見、所、唐、人、九、前、渡、海、仕、後、舟、所、作、但、之、祿、入、申、年、二、月、唐、人、初、渡、海、仕、柳、子、相、見、所、人、渡、海、可、見、之、也、

第卅七箇條 所迫答

一 伯耆國の竹嶋と波海、數里并竹嶋。
朝熊^に波海、數里并尋^に波海并子。
竹嶋と石室^に拾^に竹嶋。朝鮮と羅^に里^に波海。

法道具指等少も有るに松子根をとり置
唐人丸前に渡海仕込て寺所をたてし作
但之祿入壬申年二月唐人初に渡海仕
扱ともねり人河海可なりと云ふ

第百七箇條 所近答

一 伯耆國の竹嶋と渡海 數里并竹嶋。

朝能に渡海 叔王所尋に極る年子。

竹嶋と石田に極る竹嶋。朝鮮と羅羅。

この有海に極るありと云ふ。

右に道中及所尋に極る年子。右に書に道中。

趣お残の水と云ふ相尋書に指し作と云

伯耆米子町人

大谷九郎

享保九年四月一日

伯耆米子町人

村川市藏